

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月1日

上場会社名 ティ・エス テック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7313 URL <http://www.tstech.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古明地 利雄
 問合せ先責任者 (役職名) CSR部広報課長 (氏名) 榎原 尚志 (TEL) 048(462)1121
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	60,914	△33.4	205	△96.0	615	△88.1	△594	—
23年3月期第1四半期	91,444	39.4	5,151	—	5,159	—	2,287	306.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,237百万円(△32.5%) 23年3月期第1四半期1,834百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△8.74	—
23年3月期第1四半期	33.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当り純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	168,971	111,133	58.4	1,451.09
23年3月期	180,839	111,894	55.1	1,464.32

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 98,671百万円 23年3月期 99,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2 23年3月期期末配当金の内訳 : 普通配当11円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	119,600	△34.6	△2,000	—	△1,100	—	△1,900	—	△27.94
通 期	303,100	△15.2	8,300	△58.8	10,000	△53.5	4,100	△65.1	60.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	68,000,000株	23年3月期	68,000,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,630株	23年3月期	1,630株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	67,998,370株	23年3月期1Q	67,998,456株

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは、大きく異なる結果となり得ることを、ご承知おきください。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・平成23年8月1日開催予定の決算説明会にて使用する決算説明資料については、当社ホームページ(<http://www.tstech.co.jp>)の以下のURLにてご覧いただくことができます。
(IR資料)<http://www.tstech.co.jp/ir/index.html>

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）の世界経済は、日本においては平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響はあったものの、中国やアジア諸国を中心に引き続き拡大傾向を見せるなど、景気は総じて回復傾向を示しました。

当グループが関連する自動車業界につきましては、サプライチェーンの寸断などの震災影響により、国内自動車生産が大幅な落込みを示したほか、世界各地域でも部品調達に困難をきたす等の影響を受けることとなりましたが、現在、正常化の方向に進んでおります。

このような状況の中、当グループは今期より第11次中期経営計画（2011年4月1日～2014年3月31日）をスタートさせ、「グローバル企業としての進化」を定性目標として、「QCDDM競争力の強化」「CSR先進企業体質の構築」「世界で戦える“人”インフラ構築」の3つの主要施策を掲げ展開してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、東日本大震災の影響により主要客先からの受注台数が減少したことや、為替換算上の影響により、609億14百万円と前年同期に比べ305億29百万円（33.4%）の減収となりました。利益面では、経費の抑制や原価低減効果等はあるものの、震災による減収の影響が大きく、営業利益は2億5百万円と前年同期に比べ49億45百万円（96.0%）の減益、経常利益は6億15百万円と前年同期に比べ45億44百万円（88.1%）の減益、四半期純損失は5億94百万円と前年同期に比べ28億81百万円（前年同期は四半期純利益22億87百万円）の減益となりました。

なお、セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（日本）

東日本大震災の影響による主要客先からの受注の減少に加え、海外向け供給部品の減少等により、売上高は171億47百万円と前年同期に比べ150億58百万円（46.8%）の減収となりました。利益面では、経費の抑制等は行ったものの、減収の影響が大きく、13億30百万円の営業損失（前年同期は営業利益16億96百万円）となりました。

（米州）

東日本大震災の影響による主要客先からの受注の減少に加え、為替換算上の影響もあり、売上高は184億72百万円と前年同期に比べ172億50百万円（48.3%）の減収となりました。利益面では、原価低減効果等はあるものの、減収の影響が大きく、11億46百万円の営業損失（前年同期は営業利益5億46百万円）となりました。

（中国）

主要客先からの受注の増加はあるものの、為替換算上の影響により、売上高は181億95百万円と前年同期に比べ6億83百万円（3.6%）の減収となりました。利益面では、受注の増加に伴う諸経費の増加や人件費の上昇影響に加え、為替換算上の影響もあり、営業利益は17億36百万円と前年同期に比べ11億86百万円（40.6%）の減益となりました。

(アジア・UK)

為替換算上の影響はあるものの、主要客先からの受注が増加したことにより、売上高は115億49百万円と前年同期に比べ23百万円(0.2%)の増収となりました。利益面では、受注機種構成の変化や原価低減効果等により、営業利益は16億6百万円と前年同期に比べ3億91百万円(32.2%)の増益となりました。

また、事業別の売上高につきましては、二輪事業では、日本における主要客先からの受注が増加したこと等により15億18百万円と前年同期に比べ1億71百万円(12.7%)の増収となりました。

四輪事業では、東日本大震災の影響により主要客先からの受注が減少したこと等により、売上高は585億72百万円と前年同期に比べ307億59百万円(34.4%)の減収となりました。主力製品の四輪車用シートの売上高は、518億51百万円と前年同期に比べ229億26百万円(30.7%)の減収となりました。また、ドアトリム及びルーフトリムなどの内装品等の売上高は、67億21百万円と前年同期に比べ78億32百万円(53.8%)の減収となりました。

水上オートバイやスノーモービル用シート等からなるその他事業の売上高は、8億23百万円と前年同期に比べ57百万円(7.6%)の増収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,689億71百万円と前連結会計年度末に比べ118億68百万円(6.6%)の減少となりました。流動資産については、1,032億21百万円と前連結会計年度末に比べ123億90百万円(10.7%)の減少となりました。これは、東日本大震災の影響による売上高の減少等に伴い、受取手形及び売掛金が79億99百万円減少したことに加え、現金及び預金が38億57百万円減少したことが主な要因です。固定資産については、657億50百万円と前連結会計年度末に比べ5億22百万円(0.8%)の増加となりました。これは、日本における設備投資の抑制等により有形固定資産が4億45百万円減少したものの、ドイツにおける子会社設立に伴う関係会社出資金の増加等により、投資その他の資産が9億85百万円増加したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、578億38百万円と前連結会計年度末に比べ111億6百万円(16.1%)の減少となりました。これは、北米等における運転資金の借入により短期借入金が増加したものの、当第1四半期連結会計期間における仕入高の減少等により、支払手形及び買掛金が106億19百万円減少したことが主な要因です。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,111億33百万円と前連結会計年度末に比べ7億61百万円(0.7%)の減少となりました。これは、為替換算調整勘定のマイナス残高が6億65百万円減少したものの、利益剰余金が14億81百万円減少したことが主な要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による様々な影響により、合理的根拠に基づいた業績予想の算定が困難であることから未定としておりましたが、当第1四半期連結累計期間の実績、現時点における主要客先からの受注動向及び為替相場の状況等を踏まえ、業績予想を以下のとおりといたしました。

業績予想の詳細につきましては、本日（平成23年8月1日）別途公表しております「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

第2四半期連結累計期間

連結売上高	119,600百万円	(前年同期比 34.6%減)
連結営業利益	△2,000百万円	(前年同期比 -%)
連結経常利益	△1,100百万円	(前年同期比 -%)
連結当期純利益	△1,900百万円	(前年同期比 -%)

通期

連結売上高	303,100百万円	(前年同期比 15.2%減)
連結営業利益	8,300百万円	(前年同期比 58.8%減)
連結経常利益	10,000百万円	(前年同期比 53.5%減)
連結当期純利益	4,100百万円	(前年同期比 65.1%減)

なお、為替レートにつきましては、通期平均で1米ドル=80円、1人民元=12.4円を前提としております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,251	36,394
受取手形及び売掛金	49,288	41,288
商品及び製品	2,726	2,679
仕掛品	1,639	1,581
原材料及び貯蔵品	13,810	13,284
その他	7,935	8,031
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	115,611	103,221
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,940	16,778
機械装置及び運搬具(純額)	12,810	12,252
その他(純額)	15,990	16,265
有形固定資産合計	45,741	45,295
無形固定資産	1,335	1,317
投資その他の資産	18,151	19,137
固定資産合計	65,228	65,750
資産合計	180,839	168,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,701	32,082
短期借入金	1,874	3,826
1年内返済予定の長期借入金	221	215
未払法人税等	1,007	1,244
引当金	1,999	1,144
その他	10,307	9,345
流動負債合計	58,111	47,858
固定負債		
長期借入金	2,728	2,619
引当金	471	472
その他	7,633	6,888
固定負債合計	10,833	9,980
負債合計	68,945	57,838

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,700	4,700
資本剰余金	5,163	5,163
利益剰余金	96,215	94,733
自己株式	△3	△3
株主資本合計	106,075	104,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,439	6,355
為替換算調整勘定	△12,943	△12,277
その他の包括利益累計額合計	△6,504	△5,921
少数株主持分	12,323	12,461
純資産合計	111,894	111,133
負債純資産合計	180,839	168,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	91,444	60,914
売上原価	80,907	55,492
売上総利益	10,537	5,421
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,019	596
給料及び手当	2,144	2,327
その他	2,222	2,292
販売費及び一般管理費合計	5,385	5,216
営業利益	5,151	205
営業外収益		
受取利息	87	197
受取配当金	48	85
受取地代家賃	63	48
持分法による投資利益	110	116
その他	64	60
営業外収益合計	374	508
営業外費用		
支払利息	41	55
為替差損	312	21
その他	12	23
営業外費用合計	365	99
経常利益	5,159	615
特別利益		
固定資産売却益	62	6
受取保険金	—	43
その他	41	—
特別利益合計	103	50
特別損失		
固定資産売却損	1	14
固定資産除却損	82	25
災害による損失	—	31
その他	107	3
特別損失合計	191	74
税金等調整前四半期純利益	5,071	590
法人税、住民税及び事業税	1,449	237
法人税等合計	1,449	237
少数株主損益調整前四半期純利益	3,622	353
少数株主利益	1,335	947
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,287	△594

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,622	353
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,637	△83
為替換算調整勘定	△164	934
持分法適用会社に対する持分相当額	13	33
その他の包括利益合計	△1,787	884
四半期包括利益	1,834	1,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	310	△12
少数株主に係る四半期包括利益	1,523	1,250

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

該当する事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア ・UK	計		
売上高							
外部顧客への売上高	25,779	35,721	18,423	11,519	91,444	—	91,444
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,427	1	456	6	6,892	△6,892	—
計	32,206	35,723	18,879	11,526	98,336	△6,892	91,444
セグメント利益	1,696	546	2,922	1,215	6,380	△1,229	5,151

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,229百万円には、セグメント間取引消去△130百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△905百万円を含んでいます。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米州	中国	アジア ・UK	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,140	18,472	17,751	11,549	60,914	—	60,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,007	—	444	—	4,451	△4,451	—
計	17,147	18,472	18,195	11,549	65,366	△4,451	60,914
セグメント利益又は損失(△)	△1,330	△1,146	1,736	1,606	866	△661	205

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△661百万円には、セグメント間取引消去410百万円、親会社の本社管理部門にかかる配賦不能営業費用△922百万円を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。